

本時の目標

擬態語、副詞（形容詞）、比喩のちがいに気づいて整理する。

準備物 SKYMENU Class  
先生タブレット1台 児童タブレット27台 大型画面

本時の展開

学習活動・内容	留意点	ICT活用のポイント	ICT活用の意図	評価規準
<p>○前時の復習をする。</p> <p style="text-align: center;">ようすをあらわすことばのクイズを考えよう</p> <p>○児童が作成した動画クイズを見て、ようすをあらわすことばを考える。</p> <p>ことばのひびきをあらわすことば <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どれくらい</span> をあらわすことば <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たとえをあらわすことば</span> の既習事項をもとに考えさせるようにする。</p>		<p>・児童が作成した動画クイズの動画を大画面で表示する</p> <p>・1人1台のタブレットを使い、くりかえし再生しながら言葉を考える</p> <p>・学習支援ソフト（SKYMENU Class）機能を使って、児童の入力状況を教師用タブレットで一覧表示する</p>	<p>高学年で画像や動画を取り入れたプレゼンテーションができることを目指す</p> <p>自分のペースで、学習できる</p> <p>全員の作業状況や意見の内容を瞬時に確認でき、戸惑う児童への個別支援や大事なポイントを丁寧に説明することができる</p>	<p>既習事項(教科書) ざんざん…ことばのひびきをあらわす はげしく…どのくらいをあらわす たきのように…たとえをあらわす</p> <p>・様子を表す言葉を使って、短文で表せているか。</p> <p>・様々な表現を探そうとしているか。</p>
<p style="text-align: center;">ようすをあらわすことばをなかまわけしよう</p> <p>○様子を表す言葉について、仲間分けをする。</p> <p>どれくらいをあらわすことばには、形容詞・形容動詞・副詞が含まれている。仲間ととらえにくい子どもには実態にあわせて補足説明をする。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>発表の話型(例) わたしは、「○○はたとえをあらわすことばのなかま」と思います。なぜなら「～みたいな」があるからです。 わたしは○○さんとちがって、「ひびきをあらわすことばのなかま」と思います。なぜなら……からです。</p>	<p>・導入で出た表現を、発表ノートに入力してワークシートとして、活用できるようにする</p> <p>・ペアでの話し合い活動が円滑になるツールとしてタブレットとタッチペンを使う</p> <p>・児童が記入したワークシートを大画面で提示したり、比較したりする</p>	<p>板書用の短冊、ワークシート等の教具・教材を事前に準備する時間が短縮できる</p> <p>視覚的に示すことで全体への説明や指示をシンプルにすることができる</p> <p>黒板に貼られた短冊での仲間分け活動は代表児童しかできないが、タブレットの使用で全員が仲間分け活動を直接体験できる。またタッチペンの操作は書き写すことが苦手な児童も主体的に学習に参加できる</p>	<p>ユニバーサルデザイン 合理的配慮の授業作りの視点 授業における ナチュラルサポート (基礎的環境整備)</p>	
<p>○学習内容をふりかえる。</p>		<p>・発表ノートで、ふりかえりシートを配布、記入、提出する</p>	<p>考えを書く→発表するまでの流れがスムーズに行える 児童の考えを視覚的に表示するため聞き逃しても確認することができる</p> <p>ワークシートの配布、回収がスムーズになる</p> <p>・言葉のひびきを表す言葉（擬態語） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どれくらいを表す言葉</span> (副詞・形容詞) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たとえの言葉</span> (比喩) のちがいに気づいて整理しているか。</p>	

児童

教師